

# エクセルで万年カレンダー作成

2026年万年カレンダー

IT ふたば会・水島講座

重点操作: 数式入力  
条件付き書式設定  
文字装飾

序: 自分の好みのデザインの万年カレンダーをつくります。エクセルカレンダーテンプレートは NET から探して気に入ったものをダウンロードできます。

カレンダーは、セルに数式を入力し、条件付き書式を設定して日付の中でも祭日表示を行います。1月カレンダーを完成させます。その後 コピー/貼り付け/条件書式の一部編集・・・の方法で残りの月のカレンダーを容易に完成させます。

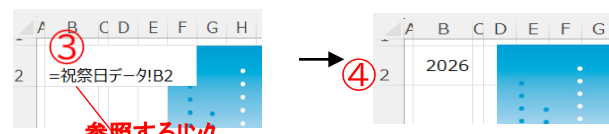
## I. 準備操作(年、月、祝祭日)

1. 教材中の [I7k7k カレンダ template.xlsx] を立ち上げます。次に「ファイル」タブから「名前を付けて保存」をクリックし、[(新規)I7k7k 万年カレンダー.xlsx] の名前でデスクトップに保存します。

2. カレンダー年をセルに配置します

先頭図形①をクリックで選び右方向へ少し移動させた後、[セル B2] ②を選択→ダブルクリックし [=祝祭日データ!B2] ③と入力し [Enter] で確定します→ [2026] ④と表示されます。

先頭図形①をもとの位置へ戻します。



A	B	C
	万年暦用	
	2026	祝祭日
	2026/1/1	元日
		振替休日
1月第2月曜日	2026/1/12	成人の日
	2026/2/11	建国記念の日

祝祭日の一覧表の範囲に名前を付けます

[祝祭日データ] シートを開きます。

[B3] ~ [B29] をドラッグして選択①します。

B3 をクリックして選択し 祝祭日 と入力

→ [Enter] で確定します

	B3	=DATE(B2,1,1)
1	万年暦用	
2	2026	祝祭日
3	2026/1/1	元日
4		振替休日
5	1月第2月曜日	2026/1/12
6		2026/2/11
7		建国記念の日
8		振替休日
9		2026/2/23
10		天皇誕生日
11		振替休日
12		2026/3/20
13		春分の日
14		振替休日
15		2026/4/29
16		昭和の日
17		振替休日
18		2026/5/3
19		憲法記念日
20		2026/5/4
21		みどりの日
22		2026/5/5
23		こどもの日
24		2026/5/6
25		振替休日
26		2026/8/11
27		山の日
28		振替休日
29		2026/9/21
30		敬老の日
31		2026/9/22
32		国民の休日
33		2026/9/23
34		秋分の日
35		振替休日
36		2026/10/12
37		スポーツの日
38		2026/11/3
39		文化の日
40		振替休日
41		2026/11/23
42		勤労感謝の日
43		振替休日

## II. セルに入力

1. 月の先頭の日①セルに次の年月日算出式を入力します→ [Enter] で確定

=DATE(\$B\$2,D5,1)-WEEKDAY(DATE(\$B\$2,D5,1),1)+1

①セルの内容は ② 枠内に表示されます。よってこの枠内に入力するとやり易い

\*\*\* 上記の式をコピーして② 枠内に [貼りつけ]→[Enter]でもよい。

このセルには ○○年○月○日のデータが入ります

WEEKDAY(DATE(\$B\$2,D5,1),1) この数値の意味  
曜日表示する方法を指定します

種類の例:

1(省略) 1:日曜日 2:月曜日 3:火曜日 4:水曜日 5:木曜日 6:金曜日 7:土曜日

2の場合 1:月曜日 2:火曜日 3:水曜日 4:木曜日 5:金曜日 6:土曜日 7:日曜日

3の場合 0:月曜日 1:火曜日 2:水曜日 3:木曜日 4:金曜日 5:土曜日 6:日曜日

2. 次の日付セルから順に、=D7+1→ [Enter] , =D7+2→ [Enter] , . . . ,  
=D7+41→ [Enter] と入力します。

今回は D7+6 まで入力してください!

『注』「=D7+7」から「=D7+41」までは  
入力時間を省くために講師が  
あらかじめ入力済にしています!

\*\*セル内の表示が##となるのは  
「2026 年 1 月 3 日」のように多くの文字数が  
入力されているので表示がオーバーフローしている為\*\*

## III. セルの書式設定

1. ①の表示が「日付」となるように表示形式を設定します

[日付枠] ①を選択→ [ホーム] タブ → 数値グループの [データリボンの起動ボタン] ②クリック

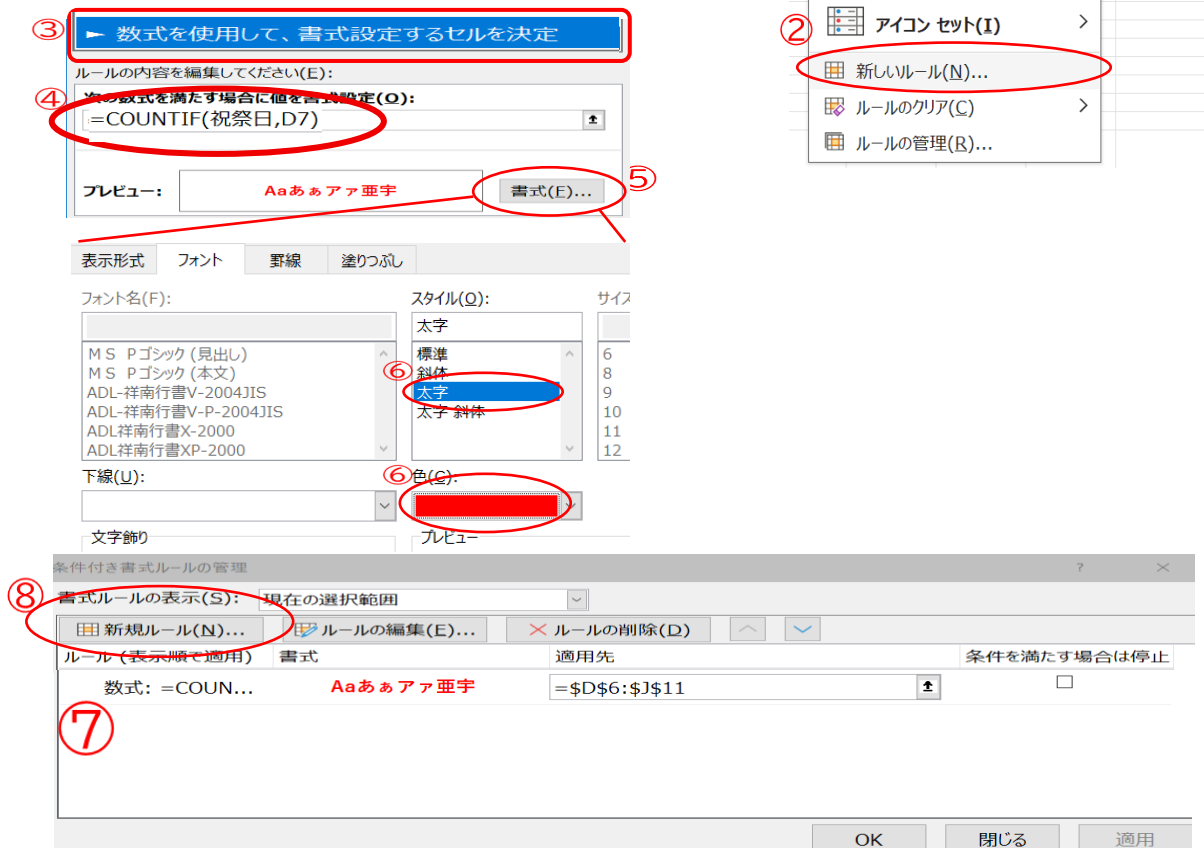
→ (セルの書式設定) 画面で [ユーザー定義] ③ → 「d」 ④ 選択 → 「OK」 →

「日付」表示 ⑤ となります (\*\* ④の d が見つからない場合は \*1 の枠内に直接 d と入力して Enter してください)

## 2. 条件付き書式を設定する

### (1) 祝祭日は赤の太字で表示する

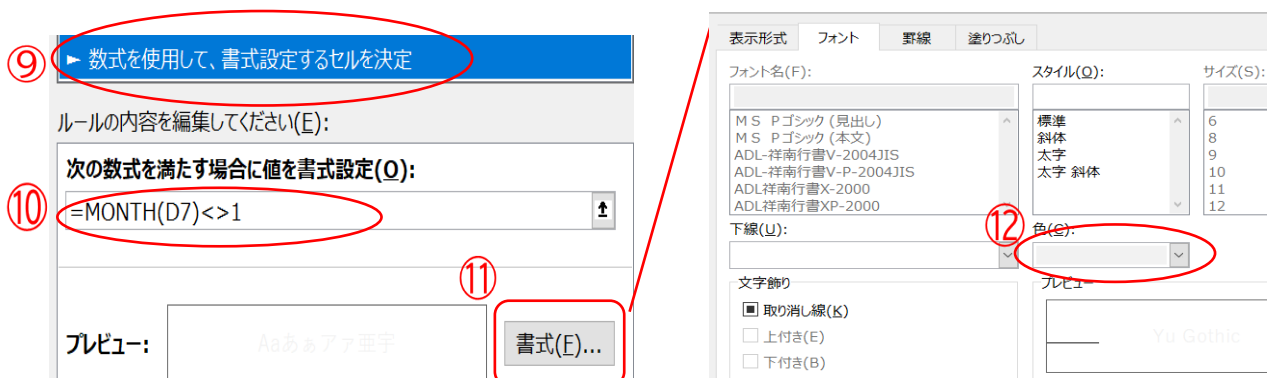
1 月の日付を全て選択した状態で [ホーム] タブ → スタイルグループの [条件付き書式] クリック① → メニューの [新しいルール] を選択② → メニューの [数式を使用して・・・] ③ 選択 → 下の欄に数式を入力④ → [書式] クリック⑤ → 文字色を赤,太字⑥ → [OK] で⑦画面まで戻る



### (2) 次に、その月に属さない日付は薄いグレー色で目立たない表示にする

⑦画面になっているので条件を追加します。

[新規ルール] クリック⑧ → メニューの [数式を使用して・・・] ⑨ 選択 → 下の欄に数式を入力⑩ → [書式] クリック⑪ → 文字色を薄いグレー⑫ → [OK] → [OK] で終了



- (3) 日曜の列は赤い文字色、土曜の列は青い文字色にする  
それぞれ列を選択してフォント色をクリックします



### 3. 1月のカレンダーの完成です

1	1月					
日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

## IV. 2月～12月のカレンダーの作成

カレンダー日付のコピーと貼り付け、条件付き書式の編集で行います。

1. 1月の全日付] ①を選択し [右クリック]  
→ [コピー] します



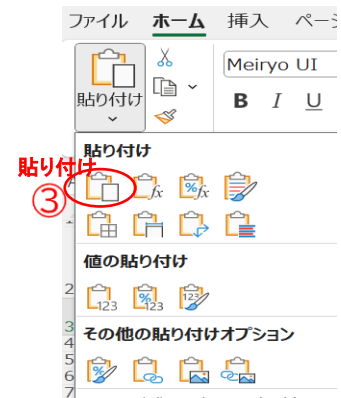
1	1月					
日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

2. [2月の全日付] ②を選択します



2	2月					
日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	1
2	3	4	5	6	7	8

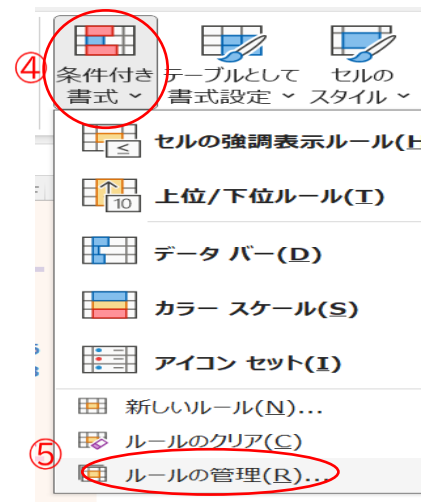
3. [ホーム] → (クリップボード)グループの [貼り付け] クリック→(貼り付け)グループの [貼り付け] ③をクリックします。



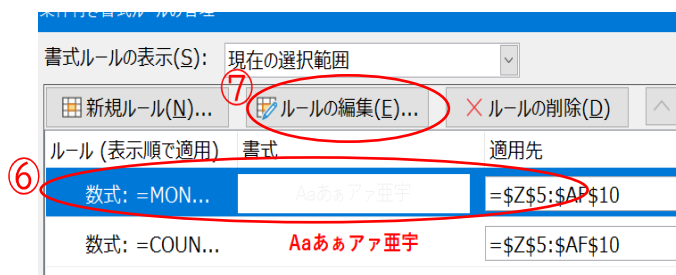
4. 右図となるのでそのままの状態での操作に入ります

2	2月					
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14

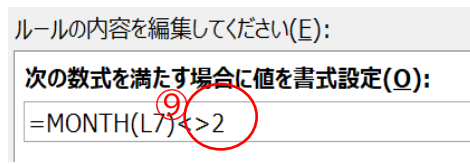
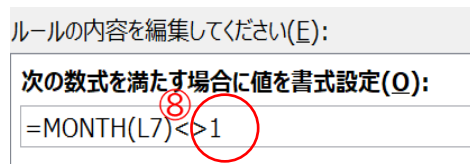
- (1). [ホーム] → (スタイルグループ)の [条件付き書式] ④  
→メニューの「ルール管理」⑤を選択



- (2). 次の画面で⑥を選択→ [ルール管理] クリック⑦



- (3). 数式の部分⑧を「1」→2月なので「2」に変えます⑨  
→「OK」→「OK」 もとに戻る



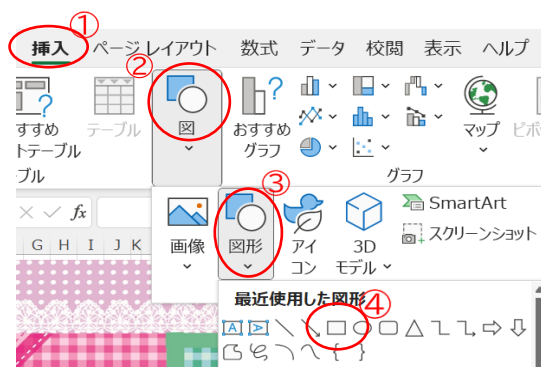
2月のカレンダーは右図のようになります

2	2月					
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14

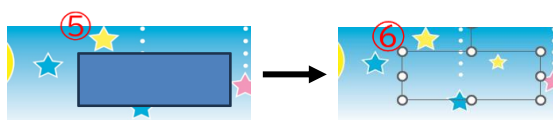
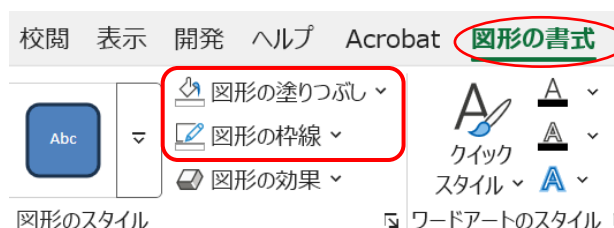
5. 同じようにして3月～12月までのカレンダーをつくります  
 前月カレンダーの日付部分をコピー → 次月カレンダーの日付部分に貼り付け  
 →条件付き書式の編集

## V. カレンダー年度を表示させる

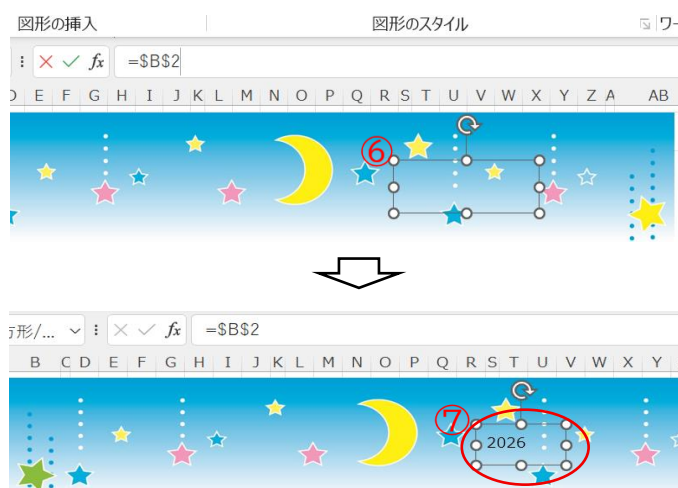
1. [挿入]①タブ→[図]クリック②→[図形]クリック③  
 →[長方形]選択④→ドラッグして描画⑤します



2. 四角枠線を選択すると現れる[図形の書式]で(塗りつぶしなし), (図形の枠線なし)で図形⑥とします



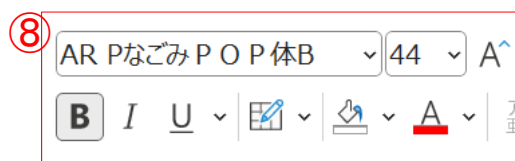
3. ⑥の四角形が選択状態のままで数式欄に「=B\$2」と入力し [Enter] 押します  
 これにより、図形⑥とセル B2 がリンクし、セル B2 の値が図形に表示されます⑦



4. 文字の装飾を行います

[四角形]⑦選択→[ホーム]の(フォント)グループで文字設定⑧

設定例 フォント: AR P なごみ POP 体 B, サイズ: 44 ポイント, 太字



[四角形]⑦選択→[図形の書式]で文字装飾

設定例 文字の塗りつぶし: グラデーション , 文字の輪郭: 白線



## 5. 完成

《祝祭日データ》の[年]を変えると、「タイトル年」、「カレンダー日付」が自動的に変わります！



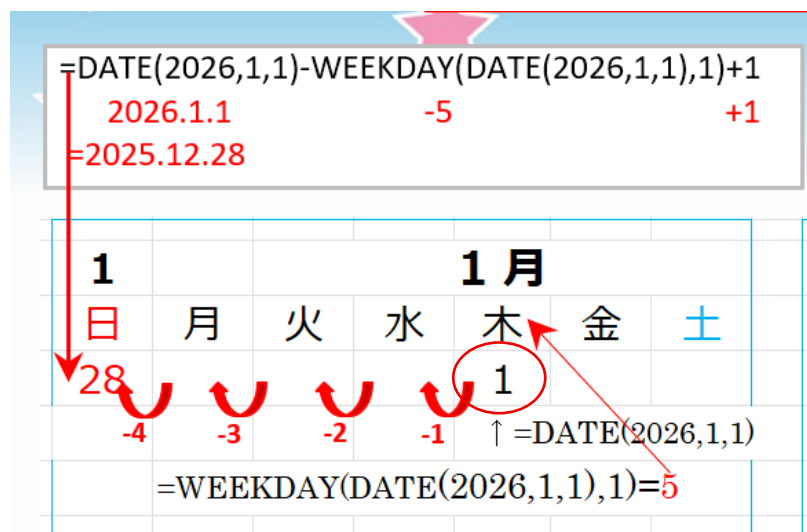
## 数式の全体像の説明

$$=DATE(\$B\$2,D5,1)-WEEKDAY(DATE(\$B\$2,D5,1),1)+1$$

「指定した年月(\$B\$2=年、D5=月)のカレンダー表示用に、その月が始まる第一週の日曜日の日付を求める式」です。

この日付を起点に、隣のセルから+1 してゆけば、日付が 1 日ずつ増え、カレンダーが完成できます。

部品ごとの意味		B2=2026, D5=1 の場合
DATE(\$B\$2,D5,1)	(\$B\$2)年(D5)月(1)日 を作る	2026 年 1 月 1 日
WEEKDAY(DATE(\$B\$2,D5,1),1)	その日が何曜日かを数字で返す	日=1, 月=2, 火=3, 水=4 木=5, 金=6, 土=7
+1	日曜日の位置まで戻す調整数	
DATE(\$B\$2,D5,1)	第一週の最初の日付	2025.12.28
-WEEKDAY(DATE(\$B\$2,D5,1),1)+1		



DATE(2026,1,1)=2026/1/1 は WEEKDAY(DATE(2026,1,1),1)=5 で木曜日となる  
 この週の最初の日付は  $-WEEKDAY(DATE(2026,1,1),1)+1=-4$  で 4 日前となり  
 $DATE(2026,1,1)-WEEKDAY(DATE(2026,1,1),1)+1= DATE(2026,1,1)-4$   
 → 2025 年 12 月 28 日となる